

いのちの輝きを見つめる

*Meiji*

第147期

中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日

## CONTENTS

株主の皆様へ	1
営業の概況（連結）	2
中間連結貸借対照表	6
中間連結損益計算書／中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
中間貸借対照表（単独）	8
中間損益計算書（単独）	9
業績の推移／連結子法人等	10
<b>Meiji</b> News	11
新製品紹介	12
トピックス	14
役員／従業員／主要な事業所	16
株式の状況	17

# ● 経営の基本方針

当社グループは、「夢と楽しさ、いのちの輝きを大切に、世界の人々の心豊かなくらしに、貢献します」を企業理念に掲げ、「おいしさと健康」を創造するグローバルな企業集団として、これからもお客様にとって価値のある商品・サービス・情報を提供してまいります。

そして、お客様の喜びを大切にすることを第一に、社員一人ひとりの個性も尊重しながら、健全な収益体制のもとで活力ある発展を目指し、社会への責務を果たしてまいります。

## 2005年度経営方針

1

### 競争力の強化による事業拡大

- (1) 「健康」「夏」「海外」をキーワードとした挑戦
- (2) 既存主力事業の強化
  - ① チョコレート・ココア事業の拡大
  - ② 医薬品開発のスピードアップと営業力強化
- (3) 企業体質の強化
  - ① 「健康」を中核としたビジネスモデルの確立
  - ② 効率的な生産体制の整備

2

### 社会的責任（CSR）経営の徹底によるブランド価値の向上

- (1) 品質保証体制の強化
- (2) コンプライアンスの徹底と社内体制の整備

3

### 挑戦的な目標設定と実行のスピードアップ

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社は平成17年9月30日をもちまして、第147期事業年度（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の上半期を終了いたしましたので、ここに中間事業報告書をお届けし、営業の概況等をご報告申し上げます。

当上半期の業績につきましては、後掲の「営業の概況」に記載のとおりであります。当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化の進展や、医療制度の諸改革による医薬品市場の成長鈍化など、依然として厳しい状況が続いており、当社グループがさらなる成長を実現するためには、既成概念にとらわれない新たな事業展開への挑戦を続ける必要があると考えております。

当社グループは、本年7月に従来の食料カンパニーとヘルスケアカンパニーを統合・再編し、「フード&ヘルスケアカンパニー」を新設いたしました。この再編により、「健康」を中核とした新しいビジネスモデルの確立を目指してまいります。健康分野につきましては、お客様の健康に対するニーズの高まりから関連市場は近年伸長が続いており、ここでの成功が当社グループの今後の成長のカギになると考えております。

また、当社グループでは、「強くて、おもしろい会社」をキーワードに当期を最終年度とする中期経営計画「チャ

レンジ2005」の実現に向け、現在総力を結集して鋭意取り組みを進めております。

なお、当期の中間配当金につきましては、すでにご案内申し上げましたとおり、1株につき金3円50銭と決定させていただきましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも一層のご愛顧ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月



代表取締役社長 佐藤尚忠

## 営業の概況（連結）

（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善、民間の設備投資や個人消費の増加など緩やかな景気回復を続けており、また、世界経済は、米国および中国をはじめとするアジアにおいて景気拡大基調が続いております。しかしながら、原油価格の動向により国内外経済の先行きに不透明感が漂う状況にあります。

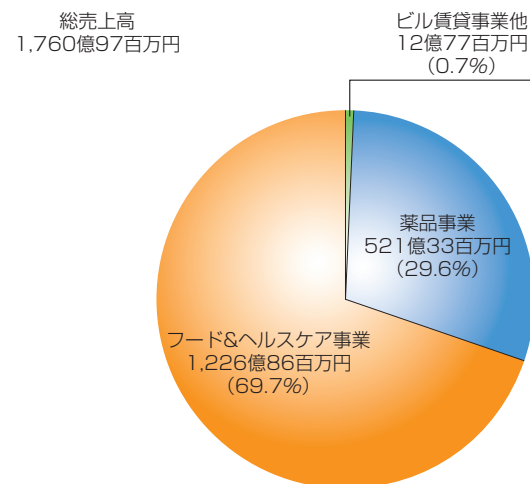
このような事業環境下、当社グループは、「健康」領域を中心とした積極的な事業展開を図り、本年7月にはフード&ヘルスケアカンパニーを発足させ、さらなる市場競争力の強化による売上の拡大と収益力の回復に努めてまいりました。

この結果、連結売上高は1,760億97百万円（前年同期比5.0%増）、連結中間純利益は16億30百万円（前年同期中間純損失31億19百万円）となりました。

当社グループのセグメント別売上高の状況は下のグラフのとおりであります。

なお、当中間期の連結子法人等は、10ページに記載しております。

### ●売上高構成比（当中間期）

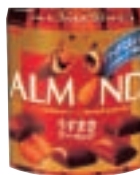


本年7月に食料カンパニーとヘルスケアカンパニーを統合・再編し、フード&ヘルスケアカンパニーを発足いたしました。これにより当中間期よりセグメントを変更しております。

フード&ヘルスケア事業におきましては、個人消費は緩やかな増加傾向ではありますが、菓子の消費は依然として横ばいに推移しております。一方、健康分野におきましては、消費者の健康・美容への関心の高まりから市場は拡大しておりますが、新規参入企業も多く競争が激化する事業環境となりました。

このような状況下、当社グループは、消費者ニーズとトレンドを先取りした差別優位性のある新商品や夏型商品の開発と戦略的なブランド別トータルマーケティング諸施策の展開により売上の拡大に努めてまいりました。この結果、フード&ヘルスケア事業の連結売上高は1,226億86百万円（前年同期比4.7%増）となりました。なお、「フード&ヘルスケア事業」の前年同期実績は、従来の「食料事業」と「ヘルスケア事業」との合計にて算出しております。

菓子につきましては、チョコレートは、夏型商品への取組みや販促活動を強化した結果、総じて好調に推移いたしました。主力の「ミルクチョコレート」は引き続き順調に伸長しており、「アーモンドチョコレート」



はテレビCMおよび販促活動の強化により大幅な増売となりました。また、「ショパン」も新商品「キャラメルショコラ」を追加し売上に大きく寄与しました。

キャンデーは、主力の「チェルシー」

が「アジアデザートミックス」の発売により伸長しました。

ガムは、主力の「キシリッシュ」が、キャンペーンなど積極的な販促活動の展開により大幅に伸長しました。



スナックは、「カール」を中心にコンビニ専用商品や夏期限定商品の投入などにより前年同期並みに推移しました。

ビスケットは、主力の「マクビティ」ブランドに季節限定商品を投入し、全体として増売となりました。



健康分野の健康機能食品につきましては、「アミノコラーゲン」はリニューアルを図り売上が大幅に伸長しました。また、カシス製品については、本年4月に発売したカプセル製品「カシス-i EX」はドラッグストアを中心に

好調に推移し、本年8月に発売した「カシス-i」ドリンクは機能訴求などの展開により首都圏を中心に好調な滑り出しを見せております。一方、「ザバス」は競争激化により減売を余儀なくされましたが、「プロテインダイエット」やゼリー飲料などは、順調に推移しました。

食品につきましては、ココアは、市



場が低迷するなか、主力の「ミルクココア」が順調に推移し、前年同期を上回りました。また、レトルトカレーは店頭販促活動に努め、前年同期並みに推移しました。

一般用医薬品につきましては、主力の「イソジン」は、店頭露出を強化するなど、うがい薬の拡売に努めました。



海外事業における菓子・食品の輸出は、中国・米国等を中心に堅調に推移しました。また、輸入もビター系チョコブームの影響からチョコレートが伸長するなど、総じて堅調に推移しました。



業務用食材は円安傾向や原料価格の高騰から厳しい環境にありましたが、外食ユーザー等の新規販路開拓に努め、売上は順調に推移しました。

なお、連結子法人等の業績につきましては、国内で

## ■菓子主要製品

チョコレート（ミルクチョコレート、チョコレート効果、ブラック、ストロベリー、メルティーキッス、ポルテ、アーモンド、マカダミア、うすまきアーモンド、フラン、きのこの山、たけのこの里、ホルン、ガルボ、レガ、ショパン、プッカ、アポロ、マーブル、チョコベビー、プチアソートほか）、キャラメル、キャンデー（チエルシー、ヨーグレット、ハイレモン、果汁グミ、ポイフル、キュン、ぶるん、もぎもぎフルーツほか）、ガム（キシリッシュほか）、スナック（カール、カールスティック、北海道ポテト、ピックアップほか）、ビスケット（マクビティ、コパンほか）

は、株式会社明治フードマテリアは、主力の砂糖における主要取引先との取引条件が変更されたことにより、減売となりました。一方、明治チューインガム株式会社は、これまで培った商品開発力とマーケティングの強化により、好調に推移しました。また、スポーツクラブ施設を経営する株式会社明治スポーツプラザは、本年5月に東京ガススポーツ株式会社所有のフィットネスクラブを譲り受けたことにより大幅に伸長しました。

海外では、明治製菓シンガポール社は、主力の「ヤンヤン」「ハローパンダ」が現地市場および近隣諸国で順調に推移し、スタウファー・ビスケット社も米国市場において積極的な販売強化に努め、順調に業績が回復しております。

#### ■健康分野主要製品

健康機能食品（アミノコラーゲン、ザバス、ローラ、パーフェクトプラス、プロテインダイエットほか）、嗜好飲料（テオプロ、ミルクココア、おいしいココアほか）、レトルトカレー（銀座カリー、銀座ハヤシ、銀座カリー上・ビーフ、菜カリーほか）、調理食品（JALスープほか）、一般用医薬品（イソジンうがい薬、イソジンのどフレッシュF、解熱鎮痛薬バイエルアスピリン、明治Gトローチ、かぜ薬ヘルピックS顆粒、ミニドリンク剤活参28ほか）、農産缶詰、業務用食材、砂糖、糖化製品

薬品事業の医療用医薬品につきましては、国内外の医療費抑制策の浸透、企業統合の進展、新薬開発における研究開発費用の増大、販売競争の激化等、厳しい環境が続いております。また、農薬・動物薬におきましても、市場の縮小による企業間競争の激化に加え、動物用抗生抗菌剤の適正使用の徹底等の行政による規制強化もあり、厳しい事業環境に終始しました。

このような状況下、医療用医薬品では、重点領域の感染症領域・中枢神経系領域における販売品目の絞込みと経営資源の集中投入を行い、農薬・動物薬では、主力品目を中心に積極的な営業活動を展開してまいりました。この結果、薬品事業の連結売上高は521億33百万円（前年同期比6.1%増）となりました。



医療用医薬品につきましては、抗菌薬では、市場が縮小し競争が激化するなか、主力製品の「メイアクト」「オメガシン」および「スオード」が好調に推移しました。また、「ハベカシン」は、堅調に推移したものの、「ホスミシン」は競争激化により、減売を余儀なくされました。



中枢神経系用薬におきましては、専任の医薬情報担当者による積極的な学術普及活動が奏功し、抗うつ薬「デプロメール」が大幅な増売となり、抗不安薬「メイラックス」も順調に売上を伸ばしました。



その他の医療用医薬品では、アレルギー性疾患治療薬「エバステル」は、春先まで続いた花粉症の流行に加え、新剤形(口腔内崩壊錠)の発売もあり、好調に売上を伸ばしましたが、外用消毒薬「イソジン」は競争の激化により減売となりました。

農薬は、水稻の減反政策等厳しい環境下にありましたが、主力のいもち病防除剤「オリゼメート」を中心に堅調に推移しました。

動物薬は、行政の規制強化による抗菌剤の市場縮小などの減売要因もありましたが、昨年6月に第一製薬グループより譲り受けた動物薬事業の移管製品の寄与により、ほぼ前年同期並みの売上を確保しました。

海外事業につきましては、主力の「メイアクト」は減売になりましたが、関節機能改善薬「アダント」、飼料添加物「コリスチン」等は好調に推移し、大幅な増売となりました。

なお、連結子法人等の業績につきましては、国内では、北里薬品産業株式会社は、日本脳炎ワクチンの定期予防接種に対する行政の勧奨が差し控えられた影響が大きく、減売となりました。また、富士アミドケミカル株式会社の化成品につきましても、引き続き海外品との競争激化により、減売となりました。

海外では、東南アジアのP.T.メイジ・インドネシア社は現地向け販売の低迷により減売となりましたが、タイ・メイジ社は、積極的な販売促進により「メイアクト」「コリスチン」を中心に好調に推移しました。また、スペインのテデック・メイジ ファルマ社も昨年発売した「メイアクト」の寄与により大幅な増売となりました。

### ■薬品主要製品

医療用 医薬品	抗菌薬（メイアクト、ホスミシン、ハベカシン、スオード、オメガシン、シプロキサソールほか）、中枢神経系用薬（抗うつ薬デプロメール、抗不安薬メイラックス）、その他の医療用医薬品（外用消毒薬イソジン、アレルギー性疾患治療薬エバステル、抗悪性腫瘍薬テラルビシン、抗ウイルス化学療法薬ビクロックスほか）、人体用ワクチン、化成品
農薬 動物薬	農薬（Dr.オリゼプリンス、オリゼメート、ハービー、ジベレリン、アグレプトほか）、動物薬（メイポール、メイリッチ、アストップ、マイコバスター、ボセイドン、マリンバンテル、小動物用薬品ほか）、飼料添加物（コリスチン、セルラーゼほか）

## ビル賃貸事業他

ビル賃貸事業につきましては、首都圏における大規模ビルの需給環境は改善傾向にあり、主力のオフィスビル「ソリッドスクエア」におきましても、既存入居テナントの解約、減室等もありましたが、後継テナントの積極的誘致が奏功し入居率が改善したことにより順調に推移しました。

ビル賃貸事業他としての収入は12億77百万円（前年同期比7.6%減）となりました。なお、「ビル賃貸事業他」の前年同期実績には、本年3月に清算した株式会社明治開発の業績が含まれます。

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 <small>(平成17年 9月30日現在)</small>	前 期 <small>(平成17年 3月31日現在)</small>	科 目	当中間期 <small>(平成17年 9月30日現在)</small>	前 期 <small>(平成17年 3月31日現在)</small>
<b>資産の部</b>	<b>333,124</b>	<b>339,848</b>	<b>負債の部</b>	<b>182,085</b>	<b>192,403</b>
<b>流動資産</b>	<b>145,797</b>	<b>160,255</b>	<b>流動負債</b>	<b>76,206</b>	<b>84,880</b>
現金および預金	13,898	23,357	支払手形および買掛金	27,012	26,097
受取手形および売掛金	68,169	76,365	短期借入金	16,729	17,223
たな卸資産	47,452	44,897	未払費用	11,752	11,931
繰延税金資産	7,457	5,694	未払法人税等	1,067	3,514
その他	8,868	10,036	賞与引当金	4,893	4,838
貸倒引当金	△ 48	△ 95	売上割戻引当金	4,074	4,670
<b>固定資産</b>	<b>187,327</b>	<b>179,592</b>	その他	10,677	16,605
<b>有形固定資産</b>	<b>139,742</b>	<b>139,906</b>	<b>固定負債</b>	<b>105,878</b>	<b>107,522</b>
建物および構築物	74,675	75,521	社 債	40,000	40,000
機械装置および運搬具	36,708	36,142	長期借入金	24,837	24,118
工具器具備品	2,253	2,269	長期繰延税金負債	11,420	6,238
土地	24,914	24,965	退職給付引当金	24,813	32,451
建設仮勘定	1,190	1,008	役員退職慰労引当金	528	528
<b>無形固定資産</b>	<b>5,615</b>	<b>4,257</b>	その他	4,278	4,185
連結調整勘定	2,686	2,115	<b>少数株主持分</b>	<b>2,646</b>	<b>2,607</b>
その他	2,928	2,142	<b>資本の部</b>	<b>148,392</b>	<b>144,837</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>41,969</b>	<b>35,428</b>	<b>資本金</b>	<b>28,363</b>	<b>28,363</b>
投資有価証券	36,991	31,159	<b>資本剰余金</b>	<b>34,947</b>	<b>34,946</b>
長期繰延税金資産	262	240	<b>利益剰余金</b>	<b>73,888</b>	<b>73,611</b>
その他	5,659	4,993	<b>株式等評価差額金</b>	<b>13,481</b>	<b>10,407</b>
貸倒引当金	△ 943	△ 965	<b>為替換算調整勘定</b>	△ 1,285	△ 1,514
<b>資産合計</b>	<b>333,124</b>	<b>339,848</b>	<b>自己株式</b>	△ 1,003	△ 977
			<b>負債・少数株主持分および資本合計</b>	<b>333,124</b>	<b>339,848</b>

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 214,420百万円 209,450百万円  
 2. 受取手形割引高 66百万円 30百万円  
 (備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
<b>(経常損益の部)</b>		
<b>営業損益の部</b>		
営業収益	176,097	167,750
売上高	176,097	167,750
営業費用	171,664	165,980
売上原価	99,171	96,568
返品調整引当金繰入額	10	—
販売費および一般管理費	72,483	69,411
<b>営業利益</b>	<b>4,433</b>	<b>1,769</b>
<b>営業外損益の部</b>		
営業外収益	1,069	1,195
受取利息・配当金	391	355
持分法による投資利益	45	48
その他の営業外収益	632	791
営業外費用	1,201	973
支払利息	642	589
その他の営業外費用	559	383
<b>経常利益</b>	<b>4,300</b>	<b>1,992</b>
<b>(特別損益の部)</b>		
特別利益	311	396
固定資産売却益	251	186
投資有価証券売却益	—	182
その他の特別利益	60	27
特別損失	632	6,397
固定資産廃棄損	499	373
事業構造改善費用	—	5,565
その他の特別損失	133	459
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>3,979</b>	<b>—</b>
<b>税金等調整前中間純損失</b>	<b>—</b>	<b>4,008</b>
法人税、住民税および事業税	900	730
過年度法人税等戻入額	103	505
法人税等調整額	1,290	△1,290
少数株主利益	261	176
<b>中間純利益</b>	<b>1,630</b>	<b>—</b>
<b>中間純損失</b>	<b>—</b>	<b>3,119</b>

(注) 1株当たりの中間純利益 4円25銭 —  
1株当たりの中間純損失 — 8円14銭

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前中間期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	3,871	6,434
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,284	△9,988
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,566	13,544
現金および 現金同等物に係る換算差額	35	67
現金および 現金同等物の増減額(減少：△)	△8,944	10,057
現金および 現金同等物の期首残高	22,646	10,688
現金および 現金同等物の中間期末残高	13,702	20,746

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間貸借対照表(単独)

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成17年 9月30日現在)	前 期 (平成17年 3月31日現在)	科 目	当中間期 (平成17年 9月30日現在)	前 期 (平成17年 3月31日現在)
<b>資産の部</b>	<b>302,786</b>	<b>311,376</b>	<b>負債の部</b>	<b>161,247</b>	<b>173,151</b>
<b>流動資産</b>	<b>122,174</b>	<b>137,454</b>	<b>流動負債</b>	<b>59,719</b>	<b>68,759</b>
現金・預金	8,639	16,937	支払手形および買掛金	22,951	22,971
受取手形および売掛金	56,299	65,465	短期借入金	10,264	10,404
商品・製品・半製品	22,958	20,417	未払金	5,080	7,966
原材料	8,563	8,428	未払費用	9,346	9,893
仕掛品	8,613	9,662	未払法人税等	215	2,534
繰延税金資産	6,531	4,771	賞与引当金	3,918	3,926
その他の流動資産	10,581	11,813	返品調整引当金	270	260
貸倒引当金	△ 13	△ 42	売上割戻引当金	4,074	4,670
<b>固定資産</b>	<b>180,611</b>	<b>173,921</b>	その他の流動負債	3,597	6,131
<b>有形固定資産</b>	<b>122,504</b>	<b>123,213</b>	<b>固定負債</b>	<b>101,528</b>	<b>104,392</b>
建物および構築物	68,015	69,528	社 債	40,000	40,000
機械装置	29,668	28,888	長期借入金	22,237	22,552
車両運搬具	116	122	長期繰延税金負債	10,876	5,753
工具器具備品	1,876	1,931	退職給付引当金	23,962	31,677
土地	21,750	21,786	役員退職慰労引当金	448	449
建設仮勘定	1,076	954	その他の固定負債	4,003	3,960
<b>無形固定資産</b>	<b>2,301</b>	<b>1,498</b>	<b>資本の部</b>	<b>141,538</b>	<b>138,224</b>
投資その他の資産	55,806	49,210	<b>資本金</b>	<b>28,363</b>	<b>28,363</b>
投資有価証券	34,229	28,541	<b>資本剰余金</b>	<b>34,947</b>	<b>34,946</b>
関係会社株式	16,309	16,234	資本準備金	34,935	34,935
出資金	428	370	その他資本剰余金	12	11
関係会社出資金	2,231	1,757	<b>利益剰余金</b>	<b>66,055</b>	<b>65,714</b>
長期貸付金	1,709	1,411	利益準備金	7,090	7,090
その他の投資	1,840	1,860	任意積立金	55,851	65,552
貸倒引当金	△ 943	△ 965	固定資産圧縮積立金	22,851	23,052
			別途積立金	33,000	42,500
<b>資産合計</b>	<b>302,786</b>	<b>311,376</b>	中間未処分利益	3,112	—
			当期未処理損失	—	6,928
			<b>株式等評価差額金</b>	<b>13,176</b>	<b>10,177</b>
			<b>自己株式</b>	<b>△ 1,003</b>	<b>△ 977</b>
			<b>負債および資本合計</b>	<b>302,786</b>	<b>311,376</b>

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 192,118百万円 188,339百万円  
 2. 受取手形割引高 66百万円 30百万円  
 (備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間損益計算書(単独)

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	前 中 間 期 (平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで)
(経常損益の部)		
営業損益の部		
営業収益	131,263	120,708
売上高	131,263	120,708
営業費用	128,942	120,592
売上原価	64,027	58,597
返品調整引当金繰入額	10	—
販売費および一般管理費	64,905	61,994
営業利益	2,321	116
営業外損益の部		
営業外収益	1,873	1,933
受取利息・配当金	1,113	1,029
雑収入	760	904
営業外費用	1,005	774
支払利息	543	494
雑損	462	279
経常利益	3,189	1,276
(特別損益の部)		
特別利益	304	388
固定資産売却益	244	183
投資有価証券売却益	4	182
その他の特別利益	55	22
特別損失	574	6,162
固定資産廃棄損	475	346
事業構造改善費用	—	5,443
その他の特別損失	98	373
税引前中間純利益	2,919	—
税引前中間純損失	—	4,497
法人税、住民税および事業税	61	65
過年度法人税等戻入額	103	505
法人税等調整額	1,280	△ 1,293
中間純利益	1,682	—
中間純損失	—	2,763
前期繰越利益	1,430	2,841
中間未処分利益	3,112	77

(注) 1株当たりの中間純利益

4円38銭

—

1株当たりの中間純損失

—

7円21銭

(備考) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## フード&ヘルスケアカンパニー発足

当社グループは、「健康分野」における事業展開をさらに強化・スピードアップするため、本年7月に、これまでの食料カンパニーとヘルスケアカンパニーを統合・再編し、新たに「フード&ヘルスケアカンパニー」を発足いたしました。この組織改正により、薬品カンパニーとの連携体制を一層強化し、グループを挙げて「健康分野における特徴あるビジネスモデル」の確立を目指してまいります。

健康関連事業を強化するため、従来のヘルスケア事業と食品事業を統合し、「健康事業本部」を新設しました。「健康事業」においては、これまで菓子・食品・健康機能食品・医薬品の各事業で培ってきた当社の技術やノウハウを最大限に活かすとともに、経営資源を健康機能食品分野に集中し、新たな事業展開を図ってまいります。



さらに、薬品カンパニーとの人材交流を活発化し、特に研究開発分野において、薬品事業で保有する健康関連素材や臨床開発のノウハウ、医療現場からの健康関連情報などを日常的に活用できる組織体制を構築し、健康ビジネスにおける食薬兼業のシナジーを最大限に発揮してまいります。



ホームページ (<http://www.meiji.co.jp>)

## ルカン 明治魯抗医薬有限公司竣工

明治魯抗医薬有限公司は、本年5月に工場が竣工し本格的な商業生産を開始いたしました。同社は、医療用医薬品原薬および動物用抗生物質原薬の製造ならびにそれらの中国国内外への販売を目的に、当社と現地企業等との合弁会社として2003年10月に中国山東省済寧市に設立されました。

中国現地での工場建設においては、工事業者への適切な指示により極めて短期間に工事を完成させるとともに、設備資材の現地調達・競争入札による積極的なコストダウンを図りました。また、迅速・的確な行政の対応により順調かつ早期の許認可取得および生産の立上げに成功し、工場建設から生産開始までの一連のプロセスに対し中国当局からも賞賛を得るにいたしました。

これらを背景とした同社の本格稼働は、中国における当社グループの評価を高めるとともに、当社グループの中国を中心とした今後の事業展開に大きく貢献するものと期待されます。



竣工式



明治魯抗医薬有限公司全景 (CG)

## フード&ヘルスケア

### ● ショパン キャラメルショコラ

チョコレートのカップにヘーゼルナッツの香りの豊富な大人味のキャラメルショコラを注ぎ、重ね焼きクレープをのせたデザートチョコです。



### ● リッチフラン 粒いちご

さくさくのココアビスケットを粒々バナラ入りのふんわりしたホワイトショコラと甘酸っぱい粒々いちごの果肉が入ったストロベリーショコラでダブルコーティングしたリッチな味わいのフランです。



### ● たけのこの里 メープル&マカダミア

クランチマカダミア入りのさくさくクッキーにメープル風味のチョコとまろやかな味わいのチョコをダブルコートしたたけのこの里です。



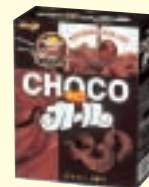
### ● 果汁グミぷぷるん マスカット味

ぷるぷるした柔らかなセンターグミを、果汁グミで包んだダブルの食感が味わえるグミです。女性に関心の高いコラーゲンを1袋に1500mg配合しました。



### ● チョココール

ココアを練り込んだカールにミルクチョコレートにコーティングしました。さくさくした食感としっとりミルクチョコのハーモニーが味わえます。



### ●キシリッシュガム カシスミント

女性層に人気の高いカシスをテーマにしたキシリッシュです。話題のカシスエキスを配合、特有の甘酸っぱさが味わえ、お口もスッキリします。



### ●テオプロココアミルク

マイルドタイプのココアを求める声にお応えし、テオプロシリーズにミルク贅沢なまろやかなココアが新登場。低温乾燥ミルクを使い、フレッシュ感と豊かな味わいをお届けします。



### ●銀座カリー 上・ビーフ

淡路島産の玉ねぎの旨み、レーズンと黒みつでコクを出し、バターモンテで香り高く仕上げたカレーソースに、じっくり煮込んだ牛すね肉を使用。上質なソースと具材を堪能していただけるワンランク上の銀座カリーです。



### ●銀座ハヤシ 上・ビーフ

淡路島産の玉ねぎの旨み、デューセルソースと赤ワインを効かせ、バターモンテで仕上げた濃厚なハヤシソースに、やわらかい仔牛肉を使用。上質なソースと具材を堪能していただけるワンランク上の銀座ハヤシです。



### ●ザバスプロテインタイプ2ネオ・ タイプ3ネオ

味と溶けやすさを追求したプロテインネオシリーズに2品が新登場。ホエイプロテインとソイプロテインを主成分にBCAA（分岐鎖アミノ酸：バリン、ロイシン、イソロイシン）を強化した球技系競技用のタイプ2ネオ、ソイプロテインにマルチデキストリンを強化した持久系競技用のタイプ3ネオを追加発売。

薬局・薬店・スポーツ店でお求めになれます。



## 宮里兄妹プロデュース **Meiji** アーモンドゴルフパーク



当社は、フジテレビが主催し今年も460万人を動員した夏のイベント「お台場冒険王2005」に、協賛社として参加しました。ファミリー層を中心に幅広い層の人々が来場するこのトータルエンターテイメントに、当社は開催初年度から特別協賛社として参画、アーモンドチョコレートをはじめとした商品のプロモーションにも最大限に活用してきました。

過去2年間はサッカーのベッカム選手をテーマに出展し好評を博してきましたが、今年は「宮里兄妹プロデュース **Meiji** アーモンドゴルフパーク」と題し、宮里藍さんの特設パークを展開しました。特



に8月8日には、藍さん自身が2人のお兄さんとともに来場、大勢のお客様と報道陣に囲まれながら様々なイベントに登場しました。そして、この日の模様は、フジテレビをはじめ各マスコミに取り上げられ、多面的なプロモーションとして展開することができました。

THE SPORTS FOODS  
**ZAVAS**

## 『ザバス』が世界柔道日本代表の栄養面をサポート

第24回世界柔道選手権大会が、2005年9月8日から9月12日まで、エジプトのカイロにおいて開催されました。当社のスポーツ&ニュートリション(SN)ラボでは1991年から柔道日本代表の栄養サポートを実施しており、本大会にも3名のスタッフを派遣して、選手の食事のケア、体調の管理を中心とした栄養サポートを行いました。カイロは食事情が日本とはかなり異なりましたが、選手全員が『ザバス』を用いて体調を維持し、男女16階級中、3個の金メダルを含む11個のメダルを獲得することができました。また、本大会では当社もスポンサーとして協賛しましたので、大会会場には『ザバス』の看板やボードが掲出され、また、男子の出場選手全員(外国人も含む)が背中のゼッケンに『ザバス』のロゴを背負って試合に臨んだため、マスコミを通じて大きく露出することができました。



今後も、全日本柔道連盟との関係をさらに深め、『ザバス』の宣伝・普及活動に努めてまいります。





# 「カシス-i」新発売!



カシスは、イチゴやブルーベリー、クランベリーなどの仲間。「カシス」というのはフランス語で、英語ではブラックカラントといい、欧米では昔からジャム、リキュール等に広く使われてきました。日本語でも黒スグリと呼ばれ、果実酒やシャーベットに使用されています。

カシスには、ビタミンCだけでなくビタミンEやビタミンA、鉄などのミネラルも豊富に含まれています。最新の研究では、ポリフェノールが多いこともわかってきました。ポリフェノールの中でも特に赤紫色系の色素成分であるアントシアニンが多く含まれ、新たな注目を集めています。

## 【カシス-i】

カシスポリフェノール130mgを含んだ美容ドリンク。ビタミンやミネラルも豊富に含まれており、酸味をきかせた爽やかな味わいで、1本にカシス50粒分の美味しさと栄養が凝縮されています。朝起きて鏡が気になる方、パソコン作業が多い方や美容と健康を気づかう方にオススメの1本。18kcalと女性にうれしい低カロリー。100mlのかわいいボトル入り。希望小売価格250円。全国のコンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパーで好評発売中。



## 【カシス-i EX】

ツルンと飲みやすいソフトカプセルタイプでカシスアントシアニンを3粒中50mg配合。その他話題のルテイン、夜間の視力の維持を助け、皮膚や粘膜の維持を助けるβ-カロテン、ビタミンCやビタミンE、銅や亜鉛などのミネラルを配合。長時間のパソコン作業や読書、夜間運転などの多い方をターゲットとした一品。60粒入りで希望小売価格3,500円。全国のドラッグストアで好評発売中。



「カシス-i」についての詳細はこちら

URL : <http://cassis-i.jp>

カシスの魅力についてはこちら（カシス大学）

URL : <http://cassis-univ.jp>

## 役員

(平成17年9月30日現在)

### ●取締役および監査役

※	取締役	会長	北里	一	郎
※	代表取締役	取締役	佐高	尚	忠
※	代表取締役	取締役	高大	昭	男
※	専任取締役	取締役	大長	正	允
※	専任取締役	取締役	松塚	治	喜
※	専任取締役	取締役	塚西	政	彦
※	専任取締役	取締役	森長	宏	信
※	専任取締役	取締役	森西	幸	史
※	専任取締役	取締役	椎内	武	雄
※	専任取締役	取締役	飯田	正	久
※	専任取締役	取締役	蓮金	義	隆
※	専任取締役	取締役	野狩	恭	男
※	専任取締役	取締役	野狩	維	秀

(注) 上記※印の取締役は執行役員を兼任しております。

### ●執行役員

常務執行役員	北里	原	弘	道
常務執行役員	柴崎	崎	直	雄
常務執行役員	真壁	壁	理	理
常務執行役員	高橋	橋	秀	樹
常務執行役員	溝口	口	祥	彦
執行役員	大塚	塚	和	義
執行役員	佐藤	藤	豊	美
執行役員	入江	江	榮	一
執行役員	福井	井	利	一
執行役員	横路	路	文	雄
執行役員	中村	村	論	紀
執行役員	北村	村	正	孝
執行役員	小河	河	定	昭
執行役員	中野	野	良	治
執行役員	荒通	通	慎	二
執行役員	小森	森	幾	雄
執行役員	浅松	松	春	造
執行役員	小田	田	隆	造

## 従業員

(平成17年9月30日現在)

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
4,039名	39.8歳	16.7年

(注) 上記には臨時従業員は含まれておりません。

## 主要な事業所

(平成17年9月30日現在)

**本社** 東京都中央区京橋二丁目4番16号

**営業所** フード&スケア／北海道統括支店（札幌）、東北統括支店（仙台）、首都圏統括支店（東京）、北関東統括支店（宇都宮）、中部統括支店（名古屋）、関西統括支店（大阪）、中四国統括支店（広島）、九州統括支店（福岡）  
ヘルスケア東日本支店（東京）、ヘルスケア東海支店（名古屋）、ヘルスケア西日本支店（茨木）

**薬品**／薬品札幌支店、薬品仙台支店、薬品東京支店、薬品横浜支店、薬品関東支店（さいたま）、薬品名古屋支店、薬品京都支店、薬品大阪支店、薬品中国支店（広島）、薬品四国支店（高松）、薬品福岡支店、農薬札幌支店ほか5農薬支店、動薬北日本支店（仙台）ほか3動薬支店

**工場** フード&スケア／関東工場（坂戸）、東海工場（藤枝）、大阪工場（高槻）

**薬品**／北上工場、小田原工場、岐阜工場（北方）

**研究所** フード&スケア／食料健康総合研究所（坂戸）  
**薬品**／微生物資源研究所（小田原）、創薬研究部門（横浜）、医薬開発部門（横浜ほか）、生物産業研究所（横浜）

**海外事務所** ロンドン事務所、シンガポール事務所、北京事務所、中国事務所（上海）

- (注) 1. ( ) 内は、当該事業所が所在する都・市・町名を示しております。  
2. 平成17年10月1日付の組織改正により、上記事業所のうちヘルスケア東日本支店、ヘルスケア東海支店およびヘルスケア西日本支店を廃止し、健康事業北海道支店、健康事業東北支店、健康事業首都圏支店、健康事業北関東支店、健康事業中部支店、健康事業関西支店、健康事業中四国支店および健康事業九州支店をそれぞれ新設いたしました。

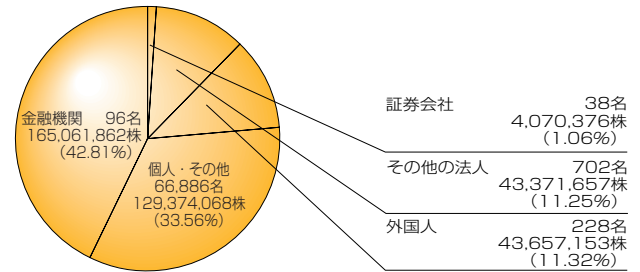
# 株式の状況

(平成17年9月30日現在)

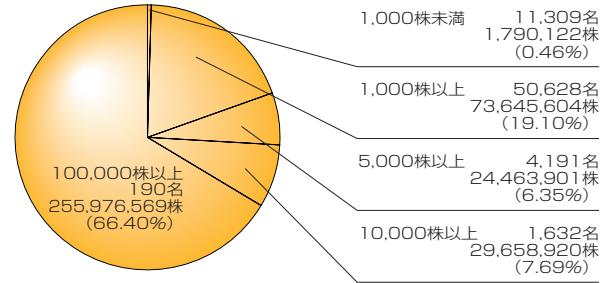
- 会社が発行する株式の総数 796,104,000株
- 発行済株式の総数 385,535,116株
- 当上半期中の名義書換件数 803件
- 当上半期中の名義書換株数 14,508,947株
- 株主数 67,950名 (前期末に比し3,242名減)
- 1名あたり平均持株数 5,673株
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (出資比率)	
	千株	%
株式会社みずほ銀行	18,927	(4.91)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	17,704	(4.59)
第一生命保険相互会社	16,163	(4.19)
日本生命保険相互会社	14,707	(3.81)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	10,934	(2.84)
富国生命保険相互会社	10,001	(2.59)
明治乳業株式会社	7,249	(1.88)
株式会社東京三菱銀行	6,804	(1.77)
東京海上日動火災保険株式会社	6,512	(1.69)
朝日生命保険相互会社	6,386	(1.66)

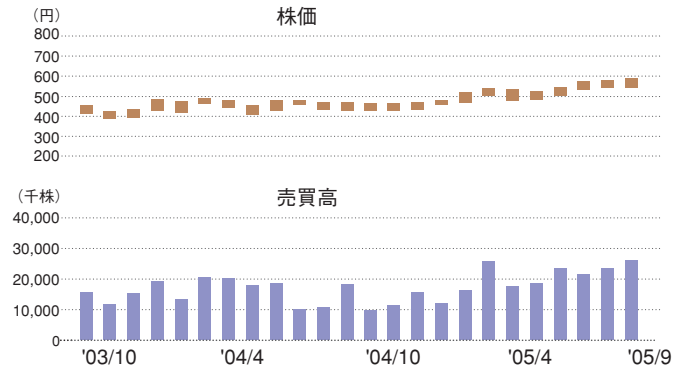
## 所有者別



## 持株数別



## 株価等の推移



# 株主メモ

**決算期** 3月31日

**配当金受領** 利益配当金 3月31日

**株主確定日** 中間配当金 9月30日

**定時株主総会** 6月下旬

**公告掲載新聞** 日本経済新聞

なお、第144期（平成14年度）分より日本経済新聞に掲載する決算公告に代えて、貸借対照表および損益計算書を以下のホームページで開示しております。  
<http://www.meiji.co.jp/ir/koukoku.html>

**名義書換代理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

**同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部

**（電話お問い合わせ）  
郵便物送付先**

〒171-8508

東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
電話 0120-707-696（フリーダイヤル）

**同取次所** 三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店  
野村證券株式会社全国本支店

**実質株主の諸届  
に関する特例** 届出の内容によって証券会社等を経由すべき場合がありますので、あらかじめお取引の証券会社等にご確認ください。

**1単元の株式の数** 1,000株

**単元未満株式の買取  
および買増請求場所** 名義書換代理人事務取扱場所および同取次所  
（証券保管振替機関に預託されている単元未満株式については、お取引の証券会社等にお申し出ください。）

## 《お知らせ》

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができます。お手続には振込指定書のご提出が必要となりますので、名義書換代理人に用紙をご請求ください。
- 当社は、単元未満株式の買増制度を導入しております。単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、その単元未満株式と併せて1単元（1,000株）となる数の株式の買増しを請求することができます。制度の内容および手続の詳細につきましては名義書換代理人にご照会ください。

## ■株主様へのご優待

3月31日現在の1,000株以上所有の株主様に対し、以下の基準で当社製品を**10月中旬**に贈呈いたします。

- 1,000株以上：1,500円相当
- 3,000株以上：2,000円相当
- 5,000株以上：3,000円相当



●製品は一例です（2,000円相当）

## 明治製菓株式会社

〈お問い合わせ先〉

〒104-8002

東京都中央区京橋二丁目4番16号  
電話 (03) 3273-3353（総務法務部）

 ホームページ (<http://www.meiji.co.jp>)

  
環境に配慮した「大豆油・インキ」  
を使用しています。

  
古紙配合率100%再生紙